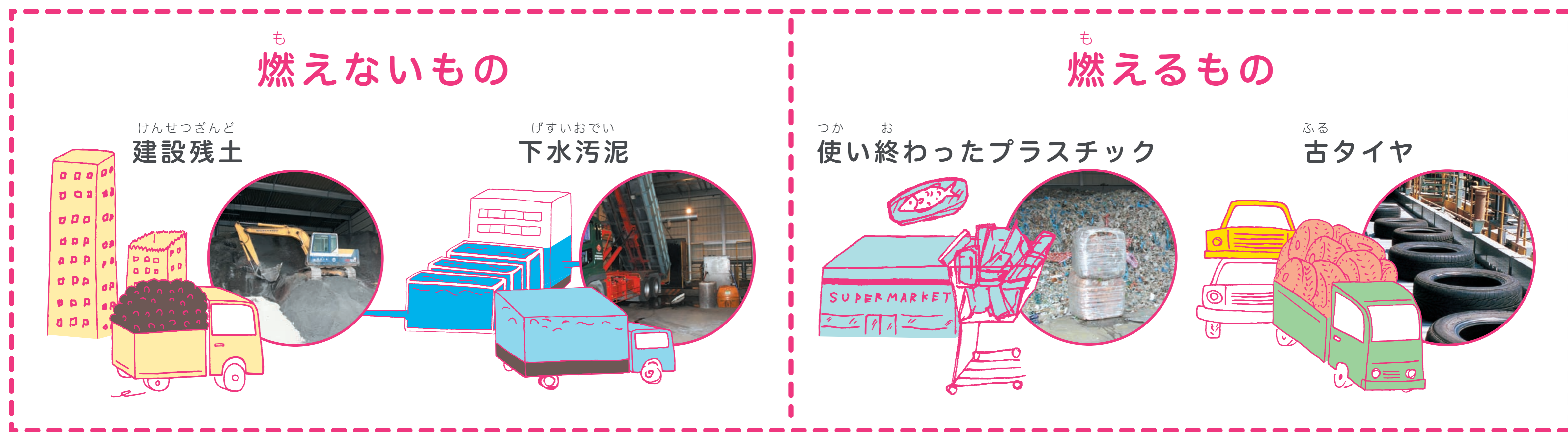


セメント工場で廃棄物をリサイクルする仕組み

セメント工場では、さまざまな廃棄物を集めて、セメントづくりの素材に活用します。

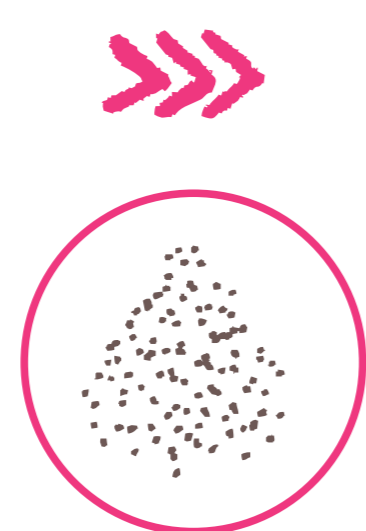
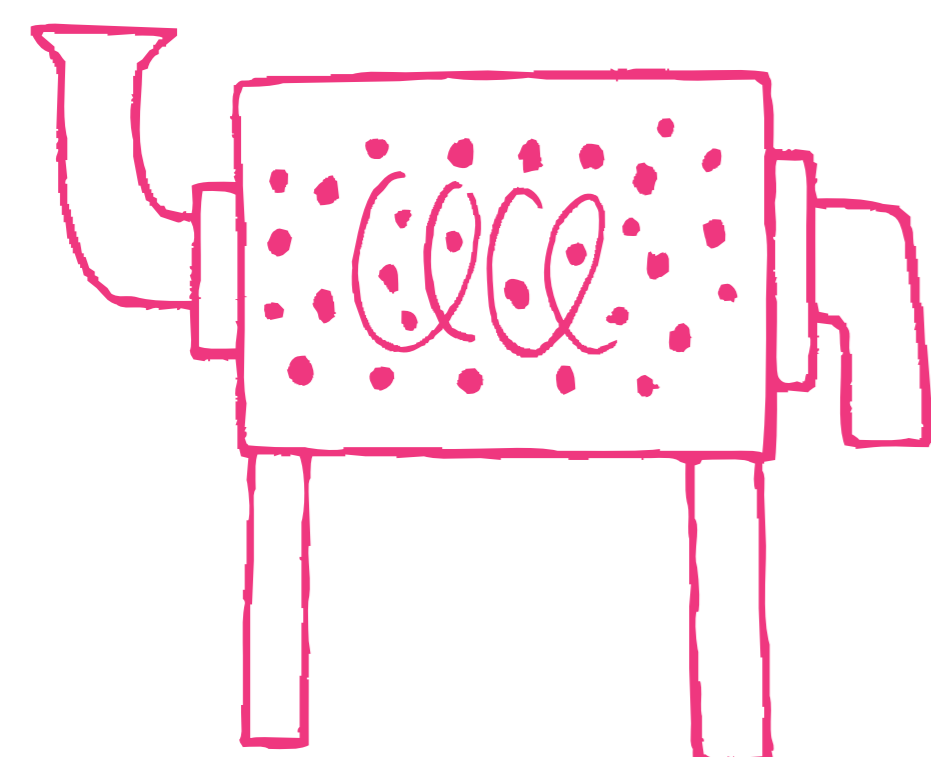


燃えないものは原料としてリサイクルします。

燃えるものは熱エネルギーとして利用し、残った燃えない部分はセメント原料になります。

原料工程 げんりょうこうてい

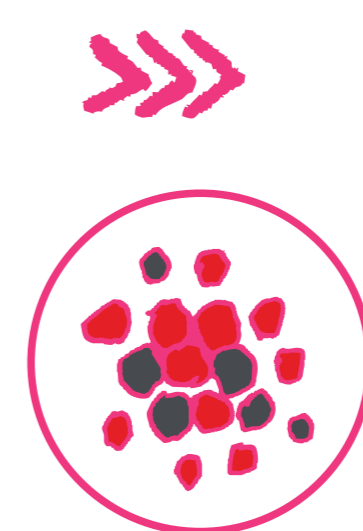
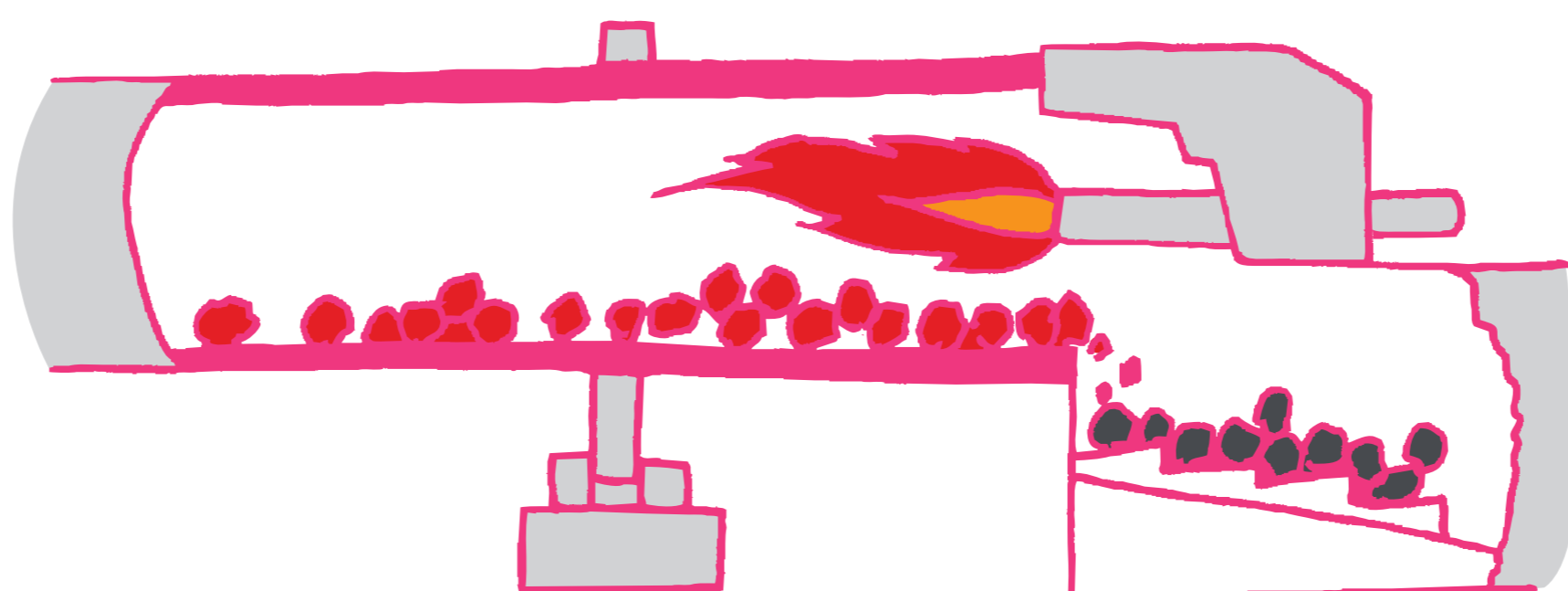
原料となる廃棄物を、天然の原料と一緒に細かくできます。



原料粉 げんりょうふん
乾燥して粉のようになった原料です。高温の焼成工程に入ります。

焼成工程 しょうせいこうてい

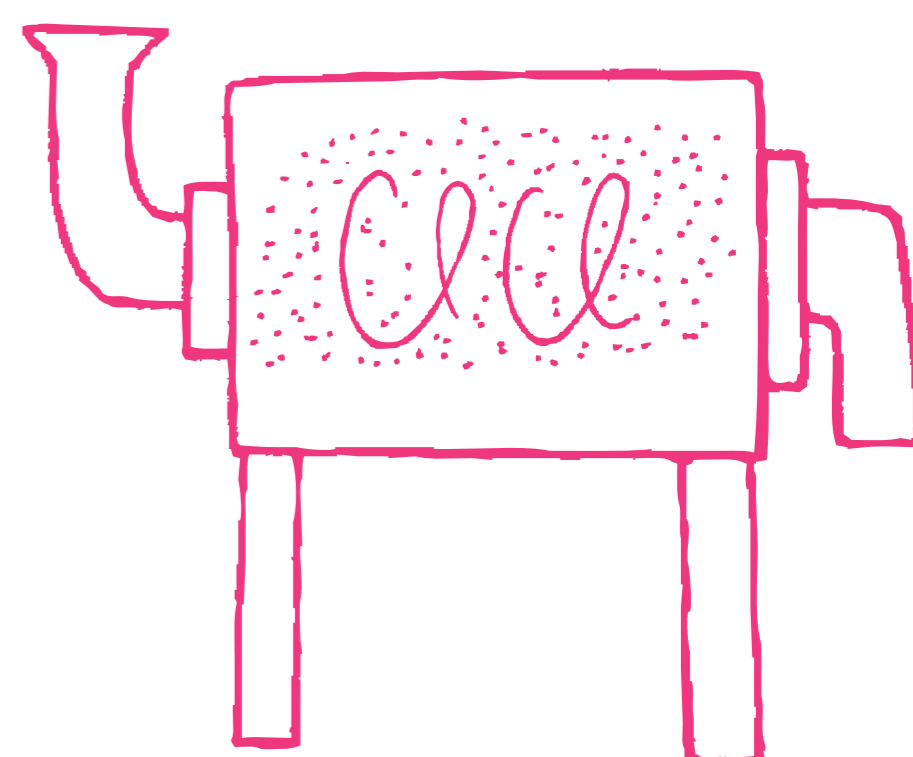
1,450°Cの超高温で焼き上げます。



クリンカ
カリカリに焼き固められたかたまりです。水を混ぜると固まる性質を持ちます。

仕上工程 しばげこうてい

粉になるまで細かくすれば、セメントのできあがり。



ここがすごいポイント！



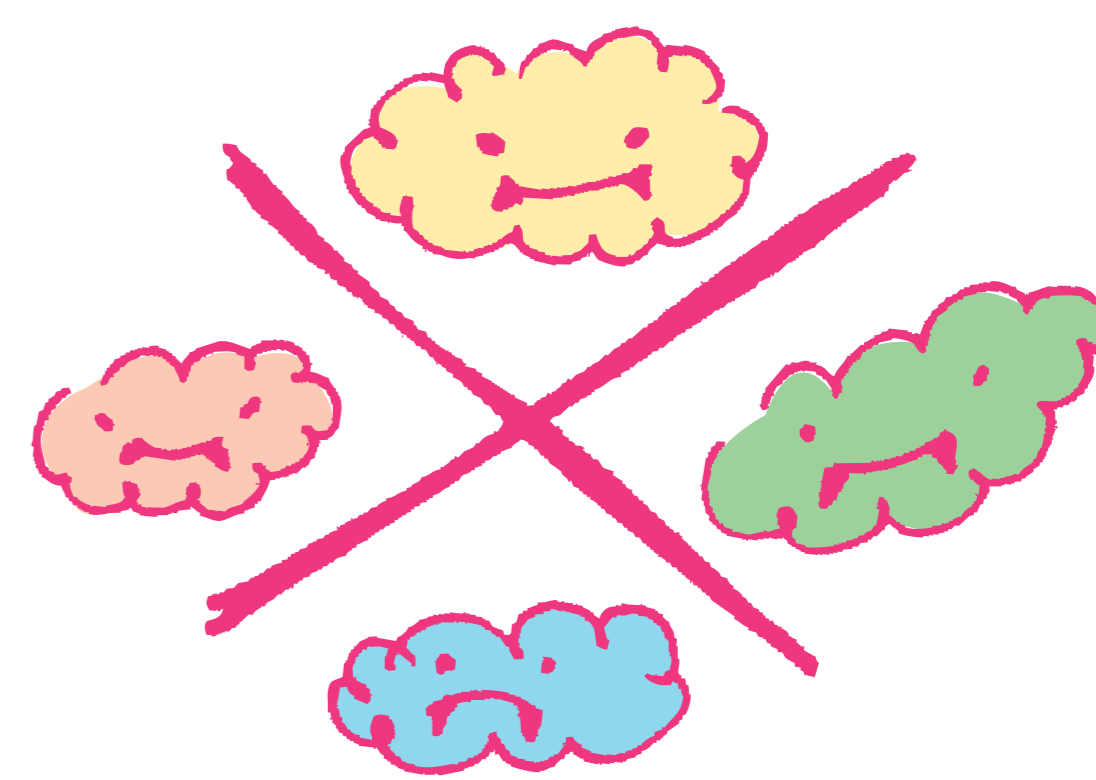
大量処分

厳重な品質管理の下で、さまざまな廃棄物を大量に資源化しています。



二次廃棄物ゼロ

廃棄物は原料・熱エネルギーとして使用されたあと、全て焼成炉でクリンカに生まれ変わります。



有害物質を無害化

悪臭の元や有害なものは、1,450°Cの超高温で分解され、無臭・無害になります。